

入院診療計画書

病棟：様

□診断名:子宮筋腫:腹腔鏡下核出術 ver.6
□診断名:子宮筋腫:腹腔鏡下腔式子宮全摘術 ver.6
□診断名:卵巣腫瘍(嚢腫):腹腔鏡下核出術 ver.6

年 月 日
特別な栄養管理の必要性:有 ・ 無
推定される入院期間: 8日間

主治医: 担当看護師: 患者様サイン欄: ご家族様サイン欄:

	入院日・手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目～5日目
達成目標	不安を表出できる		疼痛を訴えることができる	疼痛を訴え、痛み止めを使用しながら早期離床ができる 点滴やドレーンがあるため、抜けないように注意して過ごすことができる 異常なく経過し、セルフケア行動がとれる			退院後の注意事項について理解できる
安静度 リハビリ 退院	・病棟内を自由に歩く ことができます。 	・手術まで病棟内を自由に 歩くことができます。 ・歩いて手術室へ行きます。	・ベッドに寝たまま安静にしてくだ さい。 ・寝返りや膝立てはできません。	・看護師と一緒に歩いた後、病棟内を自由に 歩くことができます。			・退院できます。 →
食事	・入院日:常食が摂れます。 ・手術前日: 昼食:ソフト食 夕食:ジュースのみです。 21時以降、食べられません。。	・食べることはできません。 飲み物は()時まで です。その後はうがい ができます。		・お腹の状態によって食事を開始いたします。 ソフト食(朝から水分をとれます。)→昼食:軟 菜食→夕食:常食。※手術時間が遅くなった 場合や緊急手術では、食事開始が遅れること があります。	・常食が摂れます。 		
注射・薬剤	・入院前から飲んでいる薬がある方は 確認しますので、お渡し下さい。 場合により中止します。 ・手術前日に下剤処置を行います。 12時に錠剤2錠飲みます 15時から水薬(900ml)を1時間かけて 飲みます。脱水予防のため、点滴も 同時に行います。	・点滴を行います。	・痛み、吐き気など、必要に応じて 薬を使用しますので、 申し出て下さい。 	・全ての点滴終了後、針を抜きます。 (食事が取れない場合は点滴を続行します) ・医師の指示によりますが、入院前から飲んで いた薬を、再び飲み始めます。			
検査	・採血の検査があります。 			・採血の検査があります。		・血液検査と尿検査があります。	
処置	(手術前日) ・お臍の部分を清潔にします。 ・手術する部位の毛を短くします。 ・マニキュアは落とします。	・指輪やネックレスなどの 装飾品を外します。 ・下着を取り、T字帯、弾 性ストッキングを着用しま す。	・酸素マスクをつけます。 ・心電図モニター をつけます。 	・歩行後、弾性ストッキングを外します。 ・状態によって創のガーゼ、テープ を交換します。		・退院についての診察があります。	
清潔 (シャワー 入浴など)	・入浴ができます。 	・入浴はできません		・看護師が蒸しタオルで体を拭きます。	・発熱など異常がなければ シャワー浴ができます。 		
排泄	・歩いてトイレに行くことができます。		・手術室で全身麻酔後に 尿を出すための管を入れます。	・尿の管を抜きます。 ・管を抜いた後は、歩いてトイレに行く ことができます。			
患者様及び ご家族への説 明	・医師および看護師が手術、入院に 関する説明を行います。 ・手術承諾書と輸血同意書を看護師 にお渡し下さい。 ・麻酔科医師による手術前の診察があり ます。 ・薬剤師が薬の内容について説明し ます。 		・医師から御家族に手術の結果 についての説明があります。 ・お待ちのご家族の方が、病棟を離 れる際は、看護師へ声をかけてくだ さい。 			・医師が退院について説明します。	・薬剤師が退院後の薬の内容 と管理について説明します。 ・看護師が退院後について説明しま す。 ・退院2週間後に受診してください。

注1) 病名及び治療内容等は、入院時に考えられるものですので、検査・治療を進めていくにしたがい変更することがあります。

注2) 入院期間、表記の日時については入院時での予定です。